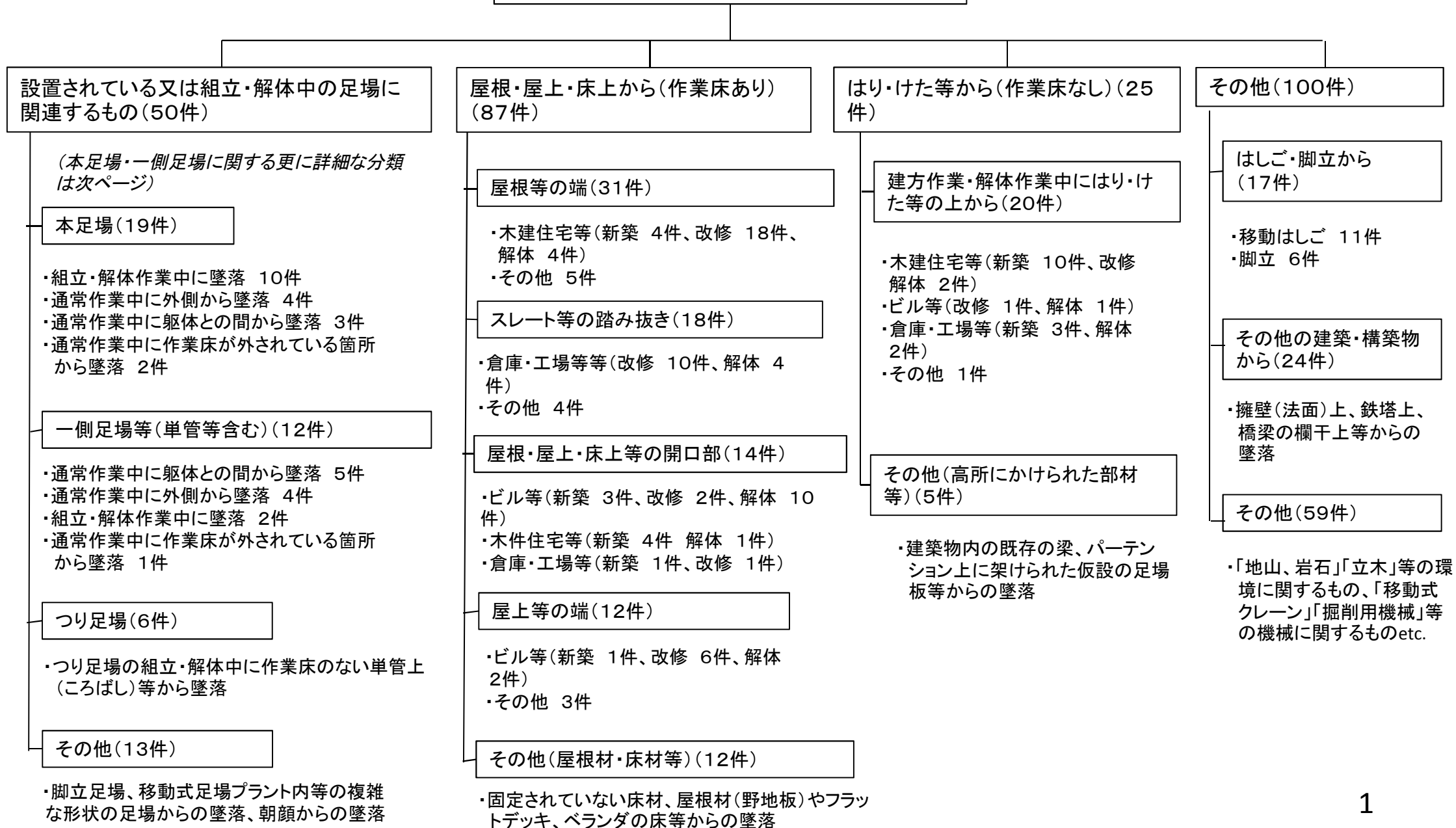


平成27年、28年の建設業における墜落・転落災害（死亡災害）の分析結果

資料3

墜落・転落災害（死亡災害）（262件）



本足場(19件)

組立・解体作業中に墜落(10件)

(最上層の外側に6件、最上層の内側1件、最上層の内外の区別がない箇所
に1件、最上層以外の外側1件、足場の倒壊1件)

(主な事例)

- ・枠組足場の最上層を組立中、建枠を持って移送していたところ外側に墜落した。
(わく組、手すり先行ではない、作業床の幅50cm、作業床と建地の隙間40cm、手すりなし、中さんなし、親綱あり(安全帯は使用せず))

通常作業中に外側から墜落(4件)

(主な事例)

- ・足場2層目作業床上にて、外壁の養生シートをかがんだ姿勢で片づけていたところ、作業床と手すりの間から後ろ向きに墜落したもの。(単管、手すり先行ではない、手すり高さ94cm、中さんなし、作業床の幅40cm)

通常作業中に躯体との間から墜落(3件)

(主な事例)

- ・3層目の足場上で住宅窓枠のコーキング作業を行っていたところ、バランスを崩し足場内側と建物の間に墜落した。
(単管、手すり先行ではない、躯体側に手すりなし、中さんなし、作業床の幅50cm、壁面と建地の隙間32cm+建地と作業床の隙間18cm)

通常作業中に作業床が外されている箇所から墜落(2件)

(主な事例)

- ・足場上で軒天の塗装作業をしていたところ、2層目の足場上の2枚敷きの布板の内、1枚が取り外された状態で設置されていたため、足場板の抜けていた開口部分から墜落した。
(単管、手すり先行ではない、作業床の幅24cm(通常箇所は40cm)、建地と作業床の隙間30cm)

一側足場(12件)

※飛散防止等の養生用の単管骨組み等を含む。

通常作業中に躯体との間から墜落(5件)

(主な事例)

- ・一側足場上で軒天の補修を行っていたところ、足場の躯体側に墜落した。
(作業床の幅25cm、躯体との隙間40cm、外側の手すり高さ84cm、中さんなし、安全帯使用せず)

通常作業中に外側から墜落(4件)

(主な事例)

- ・屋上に設置した広告パネルの撤去のため、一側足場上で作業していたところ、作業床と手すりの間から一側足場外側に墜落したもの。(作業床の幅不明、手すり高さ90cm、中さんなし)

組立・解体作業中に墜落(2件)(最上層1件、それ以外1件)

(主な事例)

- ・足場の解体作業において、部材の運搬で移動していた際にバランスを崩し墜落した。安全帯を手すりに掛けていたが、バランスを崩した際に手すりに荷重がかかり手すりの片側が外れ、安全帯が手すりをすり抜けたもの。
(作業床の幅25cm、外側の手すり高さ90cm、中さんなし)

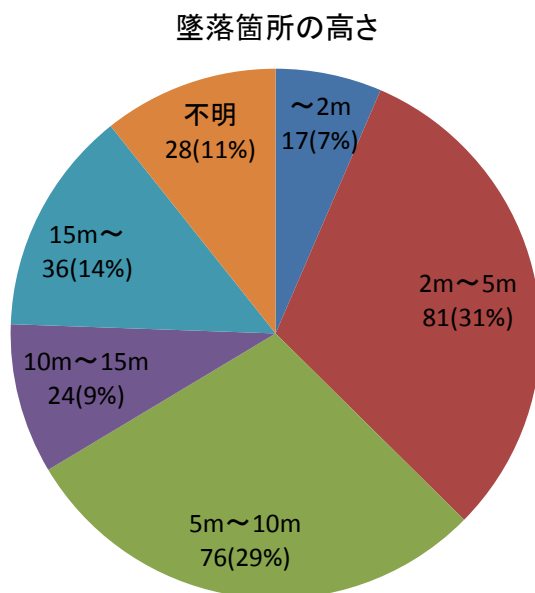
通常作業中に作業床が外されている箇所から墜落(1件)

(主な事例)

- ・足場上で外壁の換気用ダクト等に付着した塗料の拭取り作業を行っていたところ、荷上用として全層1スパン分足場板が取り外されていた箇所から墜落した。
(作業床なし(通常箇所は作業床の幅25cm)、外側の手すり高さ80cm、中さんなし、作業床が外されていた場所の妻面に手すり等の設置なし)

1. 墜落・転落災害(死亡災害)全体 : 262件

(1) 墜落箇所の高さ

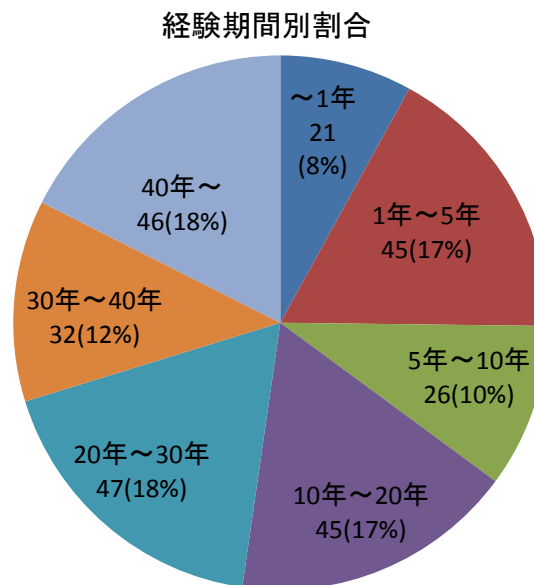
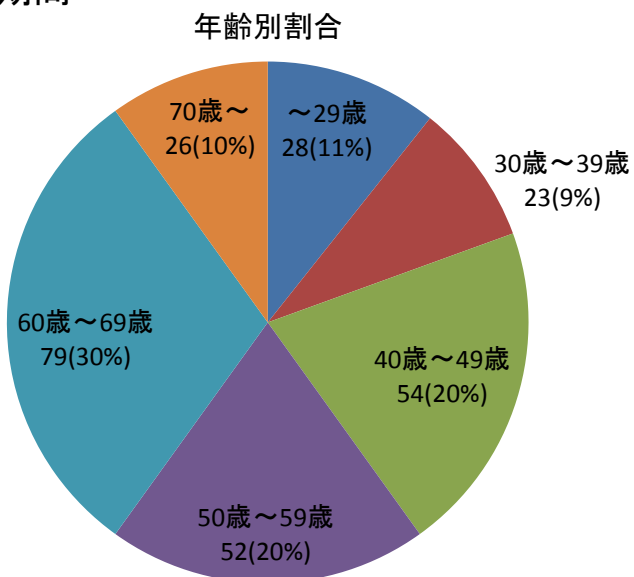


(2) 法違反(労働安全衛生規則違反)の状況 ※主要なもの

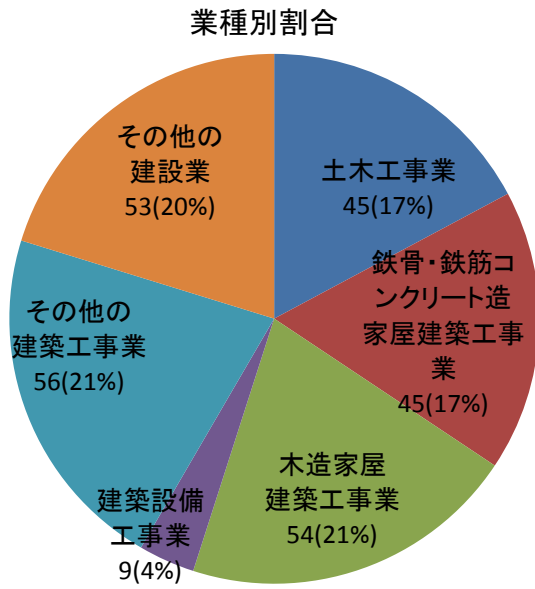
- 第519条 作業床の端等の墜落防止措置……75件(29%)
- 第518条 作業床の設置等……34件(13%)
- 第524条 スレート等の屋根上の危険防止……13件(5%)
- 第564条 足場の組立等の作業……11件(4%)
- 第521条 安全帯等の取付設備……10件(4%)
- 第563条 足場の作業床……10件(4%)
- 違反なし……61件(23%)
- 不明……35件(13%)

※ 括弧については、死亡災害(262件)に対する割合

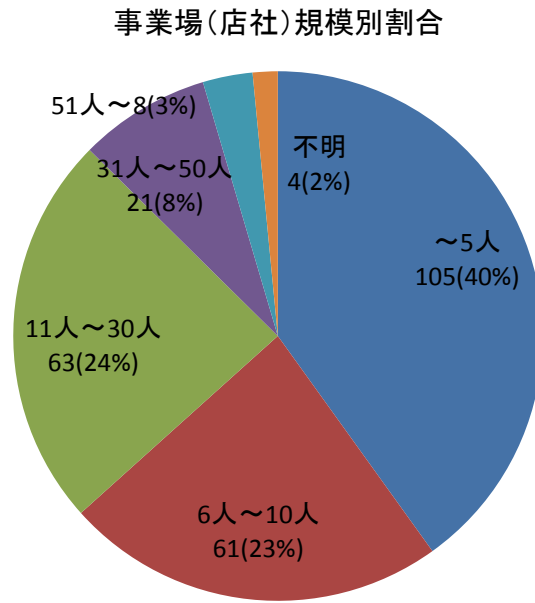
(3) 年齢・経験期間



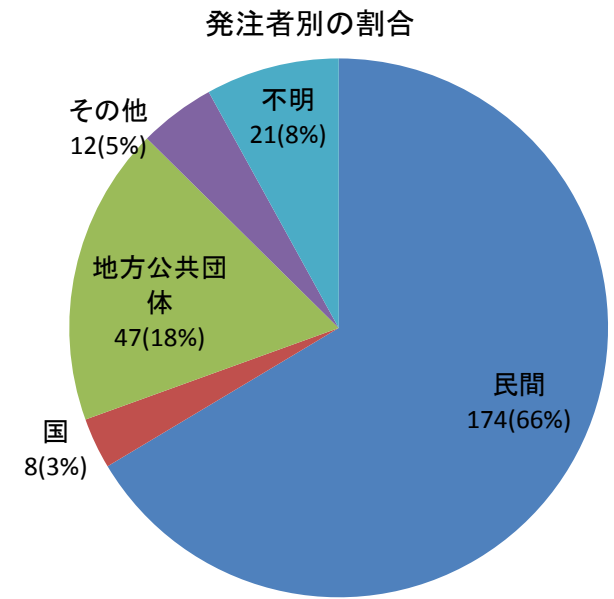
(4)業種



(5)事業場(店社)規模



(6)発注者の種別



年齢×経験期間

年齢

経験年数

	～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～	合計
1年未満	9	1	2	3	3	3	21
1年以上5年未満	11	8	8	4	12	2	45
5年以上10年未満	7	3	5	4	7		26
10年以上20年未満	1	10	16	9	9		45
20年以上30年未満		1	21	15	6	4	47
30年以上40年未満			2	15	12	3	32
40年以上				2	30	14	46
合計	28	23	54	52	79	26	

業種×事業場(店社)規模

事業場(店社)規模

業種

	～5人	6人～10人	11人～30人	31人～50人	51人～100人	100人以上	不明	合計
土木工事業	10	10	18	5	2	0	0	45
建築工事業	75	38	32	12	1	2	4	164
鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	12	11	12	7	1	1	1	45
木造家屋建築工事業	33	11	7	1	0	1	1	54
建築設備工事業	3	5	0	1	0	0	0	9
その他の建築工事業	27	11	13	3	0	0	2	56
その他の建設業	20	13	13	4	3	0	0	53
合計	105	61	63	21	6	2	4	262

業種×墜落箇所の高さ

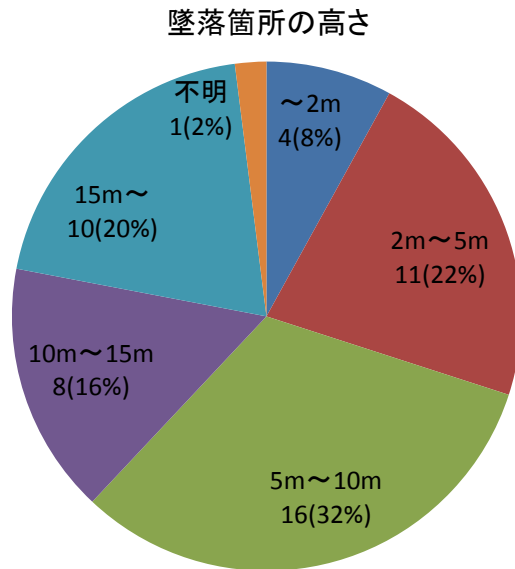
墜落箇所の高さ

業種

	～2m	2m～5m	5m～10m	10m～15m	15m～	不明	合計
土木工事業	4	7	9	2	10	13	45
建築工事業	8	62	55	15	15	9	164
鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	1	9	10	9	11	5	45
木造家屋建築工事業	5	31	17	0	0	1	54
建築設備工事業	1	2	4	0	1	1	9
その他の建築工事業	1	20	24	6	3	2	56
その他の建設業	5	12	12	7	11	6	53
合計	17	81	76	24	36	28	262

2. 設置されている又は組立・解体中の足場に関連するもの： 50件

(1) 墜落箇所の高さ

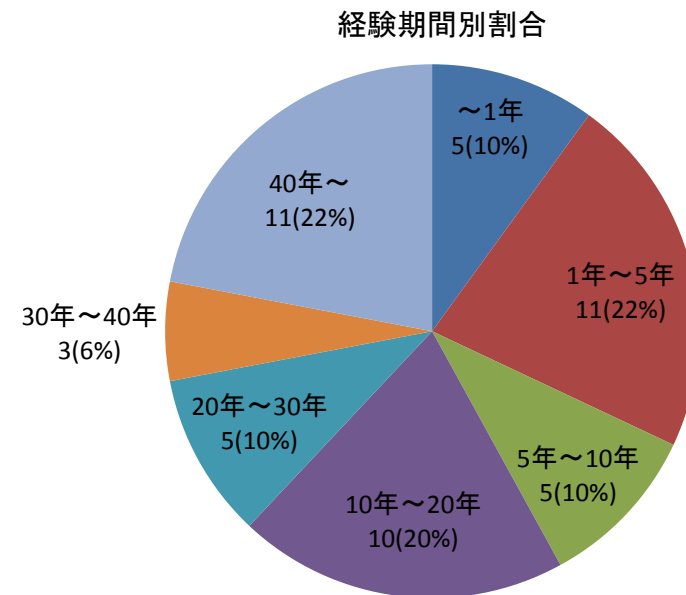
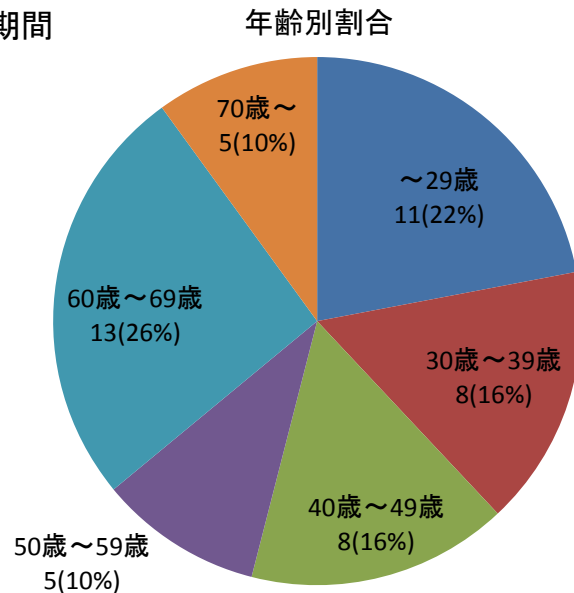


(2) 法違反(労働安全衛生規則違反)の状況

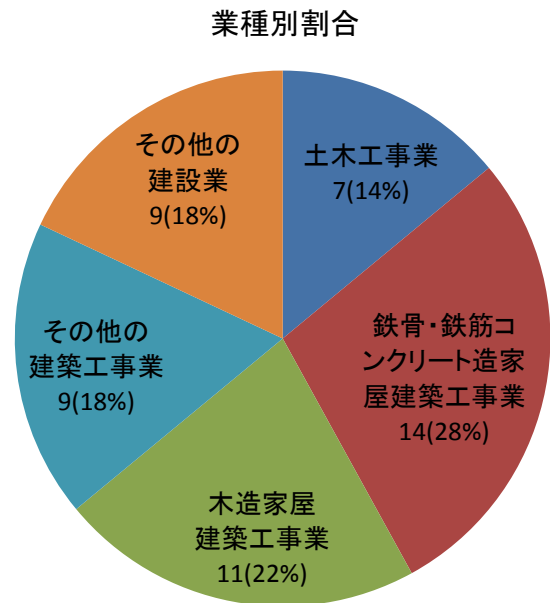
- 第564条 足場の組立等の作業……………10件(20%)
- 第563条 足場の作業床……………9件(18%)
- 第518条 作業床の設置等……………6件(12%)
- 第519条 作業床の端等の墜落防止措置 ……6件(12%)
- 第565条 足場の組立等作業主任者の選任……4件(8%)
- 第566条 足場の組立等作業主任者の職務……4件(8%)
- 第567条 足場の点検……………3件(6%)
- 違反なし……………17件(34%)
- その他、517条の12、521条、526条、540条 各2件
517条の4、529条、570条 各1件

※ 括弧については、死亡災害(50件)に対する割合

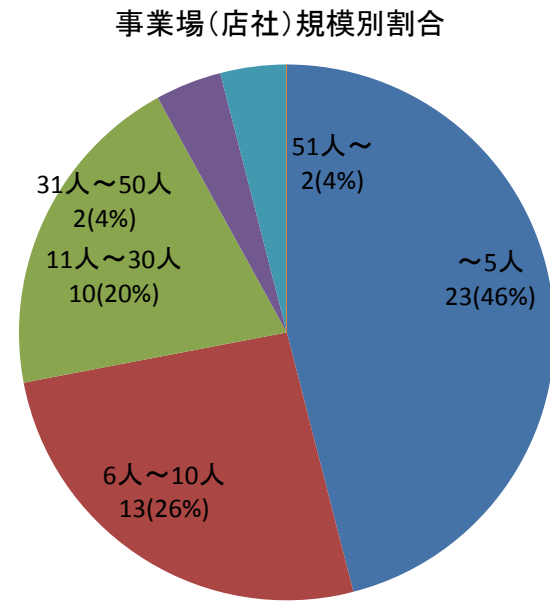
(3) 年齢・経験期間



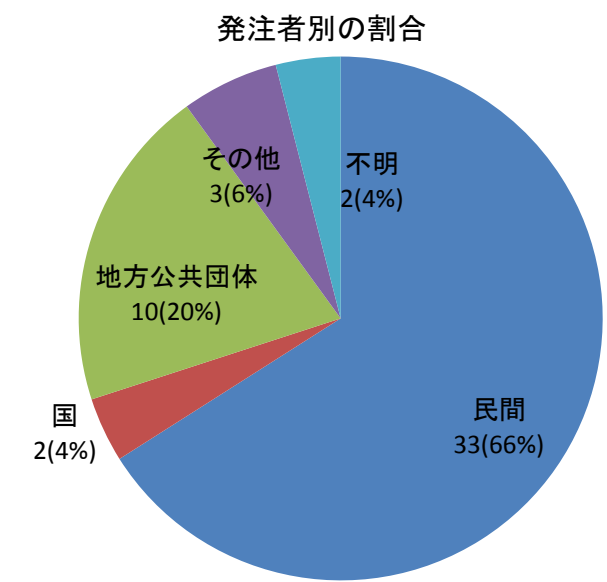
(4)業種



(5)事業場(店社)規模



(6)発注者の種別



(7)災害事例 別紙1のとおり

足場の種類別の災害の発生状況

	対象数	作業内容		高さ						墜落箇所				(内側の場合) 躯体との距離		
		通常作業中	組立・解体中	2m未満	2m~5m	5m~10m	10m~15m	15m以上	不明	足場の内側(躯体側)	足場の外側	その他	不明	30cm未満	30cm以上	不明
本足場	19	9	10	0	4	7	3	5	0	4	11	4	0	0	4	0
一側足場	12	10	2	0	3	8	1	0	0	5	6	1	0	0	5	0
つり足場	6	0	6	1	1	0	1	3	0	—	—	—	—	—	—	—
その他	13	10	3	3	3	1	3	2	1	—	—	—	—	—	—	—

災害発生時の墜落防止措置状況

● 本足場 通常作業中

対象数	作業床の幅			作業床と建地の隙間			足場用墜落防止設備 (墜落した側(※)での設置状況)			安全帯の使用	
	40cm未満	40cm以上	不明	12cm未満	12cm以上	不明	問題なし	手すりなし	中さんなし	使用あり	使用なし
9	1	6	2	2	6	1	1	3	6	0	9

(※)9件のうち、足場の内側への墜落3件、足場の外側への墜落4件、その他2件

● 本足場 組立・解体作業中

対象数	作業床の幅		安全帯取付設備			安全帯の使用	
	40cm未満	40cm以上	手すり等	親綱	なし	使用あり	使用なし
10	1	9	3	4	3	0	10

● 一側足場 通常作業中

対象数	作業床の幅			足場用墜落防止設備 (墜落した側(※)での設置状況)			安全帯の使用	
	40cm未満	40cm以上	不明	問題なし	手すりなし	中さんなし	使用あり	使用なし
10	7	2	1	0	8	9	0	10

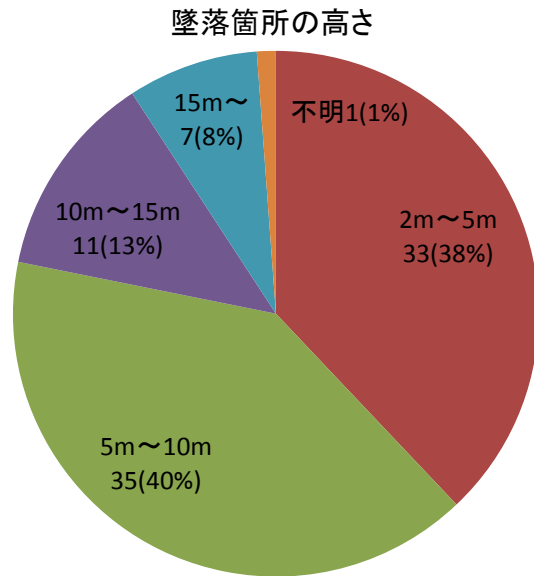
(※)10件のうち、足場の内側への墜落5件、足場の外側への墜落4件、その他1件

● 一側足場 組立・解体作業中

対象数	作業床の幅		安全帯取付設備			安全帯の使用	
	40cm未満	40cm以上	手すり等	親綱	なし	使用あり	使用なし
2	2	0	1	0	1	1	1

3. 屋根・屋上・床上からのもの： 87件

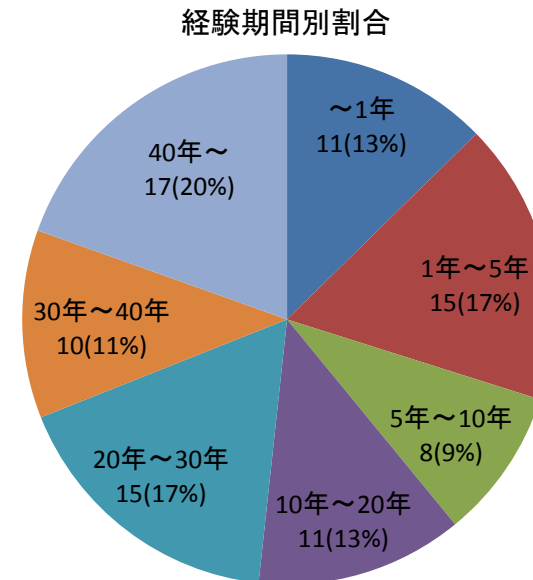
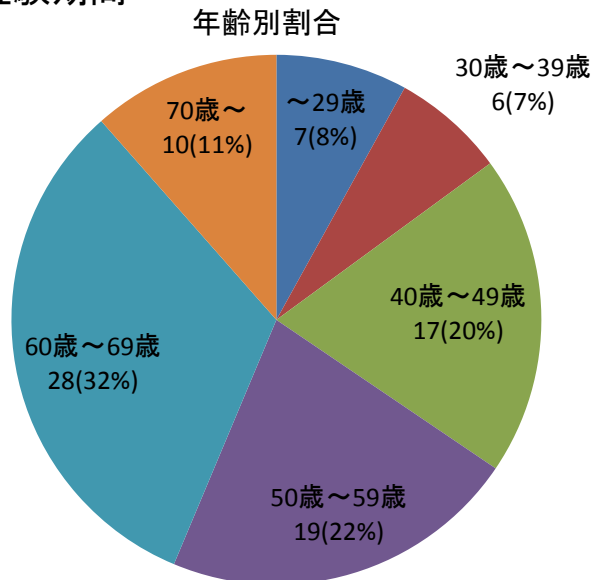
(1) 墜落箇所の高さ



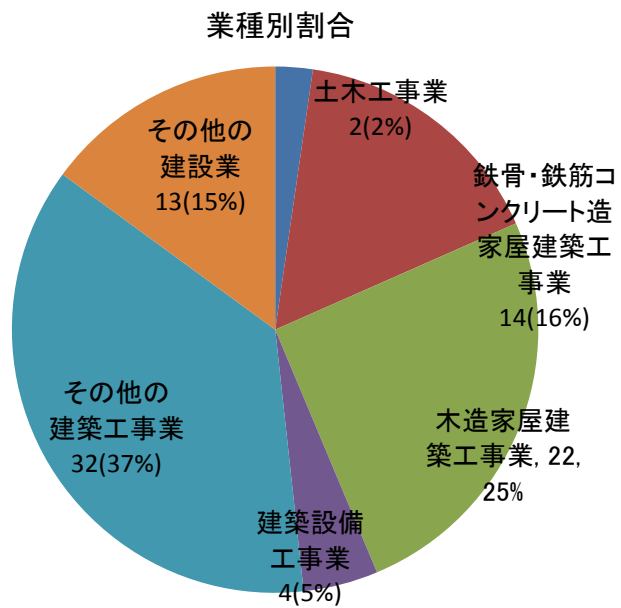
(2) 法違反(労働安全衛生規則違反)の状況

- 第519条 作業床の端等の墜落防止措置……………57件(66%)
 - 第524条 スレート等の屋根上の危険の防止……………13件(15%)
 - 第521条 安全带等の取付設備……………6件(7%)
 - 第529条 建築物等の組立、解体又は変更の作業 ……3件(3%)
 - 違反なし……………8件(9%)
 - 不明……………5件(6%)
 - その他、517条の2、517条の12、517条の13、526条、527条 各2件
517条の4、517条の5、517条の14、517条の17、517条の18、
520条、562条、563条、565条、570条、575条の5、575条の6 各1件
- ※ 括弧については、死亡災害(87件)に対する割合

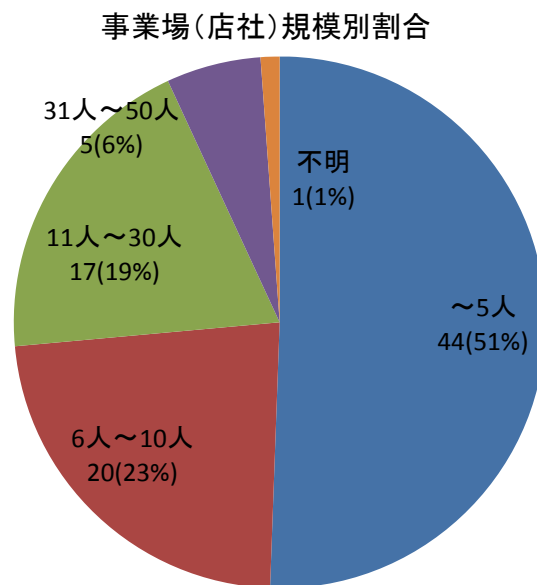
(3) 年齢・経験期間



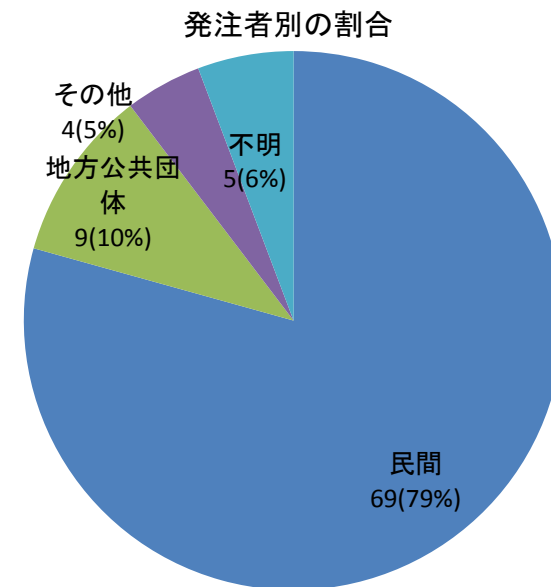
(4)業種



(5)事業場(店社)規模



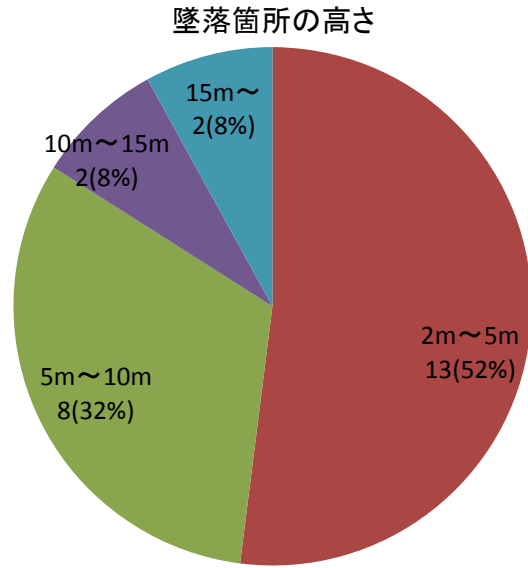
(6)発注者の種別



(7)災害事例 別紙2のとおり

4. はり・けた等からのもの： 25件

(1) 墜落箇所の高さ

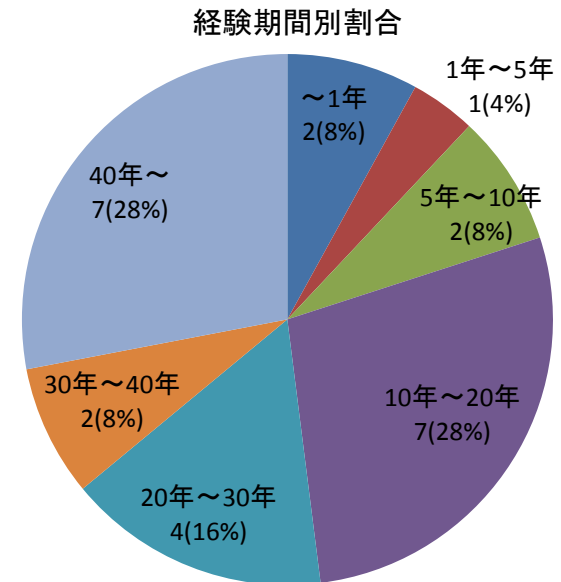
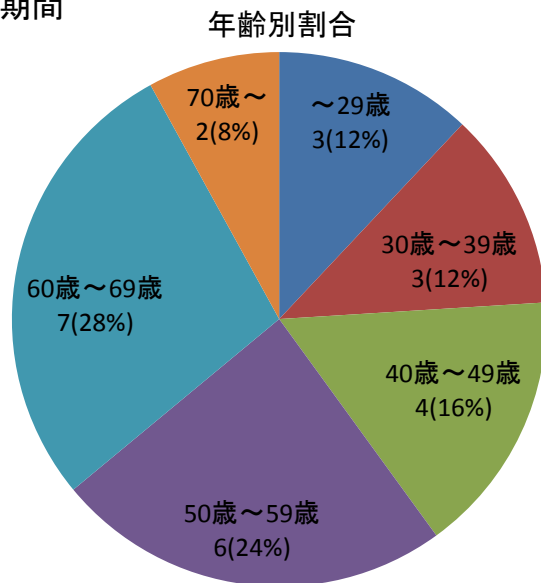


(2) 法違反(労働安全衛生規則違反)の状況

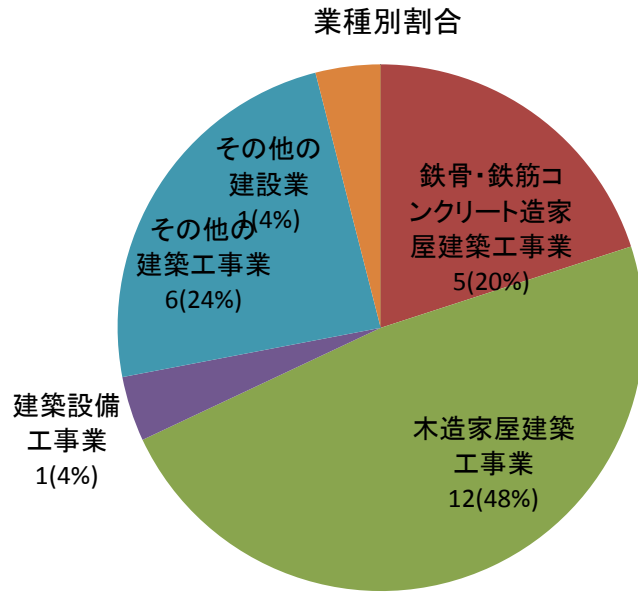
- 第518条 作業床の設置等……………20件(66%)
- 違反なし……………4件(9%)
- その他、517条の12、519条 各2件
194条の9、517条の13 各1件

※ 括弧については、死亡災害(25件)に対する割合

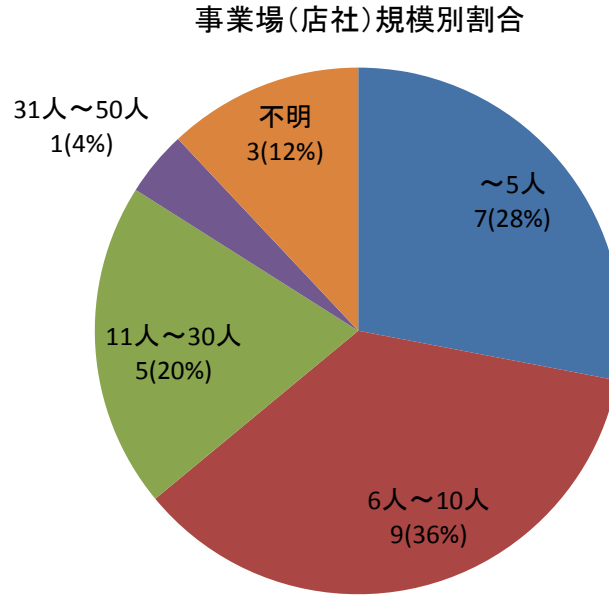
(3) 年齢・経験期間



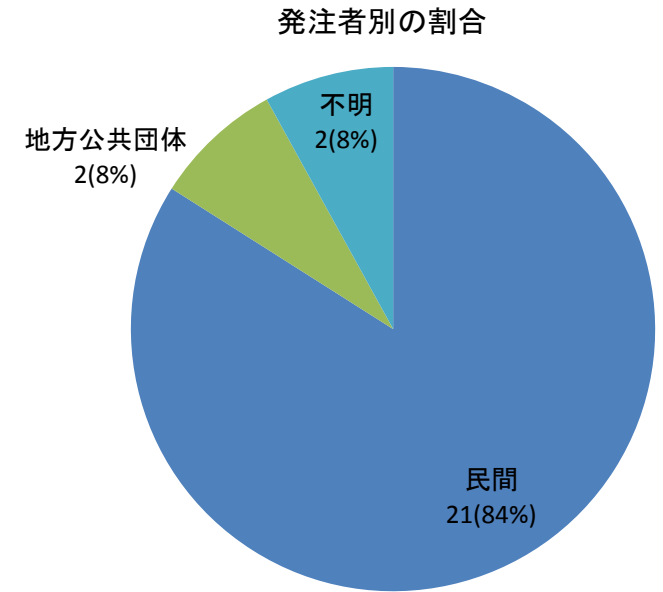
(4)業種



(5)事業場(店社)規模



(6)発注者の種別



(7)災害事例

●建方作業・解体作業中にはり・けた等の上から(20件)

- ・ 屋根の垂木を設置する作業のため、棟木(屋根の最上部に設置された垂木を取り付ける為の材)に上り作業を行っていたところ、バランスを崩し土間コンクリート上に墜落した。
- ・ 住宅新築工事において、2階梁上で火打ち材の取付を行っていたところ、火打ち材に足を掛けた際に火打ち材が梁から外れ、墜落した。

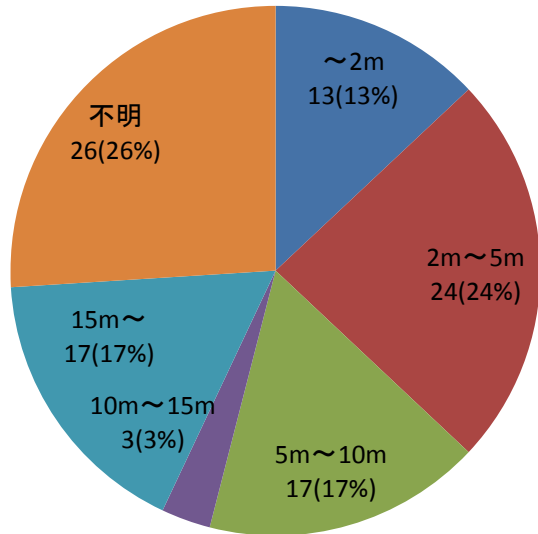
●その他(高所にかけられた部材等)(5件)

- ・ 喫煙ボックス上部に足場板をかけて作業を行っていたところ、バランスを崩し墜落した。
- ・ 施設内の鉄骨の塗装作業を行うに当たり、鉄骨上で作業を行っていたところバランスを崩し、足場が設置されていない開口部から墜落した。(当該施設内部は鉄骨が入り組んでおり、全面に作業床を設置することは困難だったもの)

5. その他：100件

(1) 墜落箇所の高さ

墜落箇所の高さ



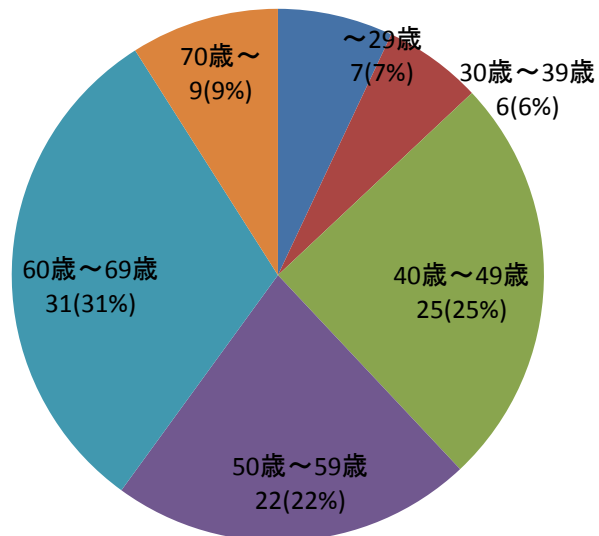
(2) 法違反(労働安全衛生規則違反)の状況 ※主要なもの

- 第519条 作業床の端等の墜落防止措置……………10件(10%)
- 第518条 作業床の設置等……………8件(8%)
- 第36条 特別教育を必要とする業務……………5件(5%)
- 第155条 (車両系建設機械の使用に係る)作業計画……………4件(4%)
- 第157条 (車両系建設機械の使用に係る)転落等の防止……………4件(4%)
- 第154条 (車両系建設機械の使用に係る)調査及び記録……………3件(3%)
- 第164条 (車両系建設機械の)主たる用途以外の使用の制限……………3件(3%)
- 第527条 移動はしご……………3件(3%)
- 違反なし……………32件(32%)
- 不明……………30件(30%)

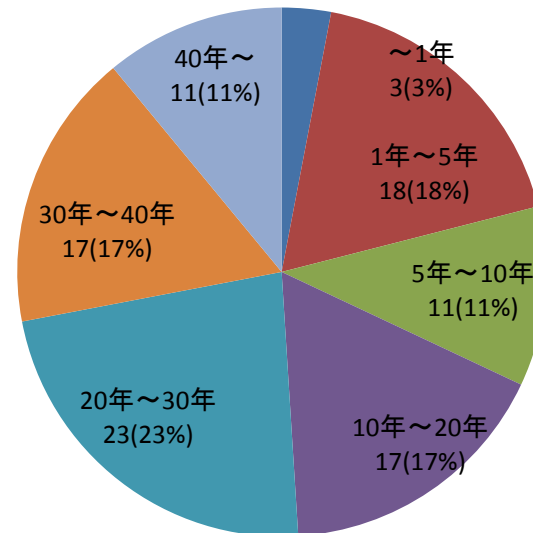
※ 括弧については、死亡災害(100件)に対する割合

(3) 年齢・経験期間

年齢別割合

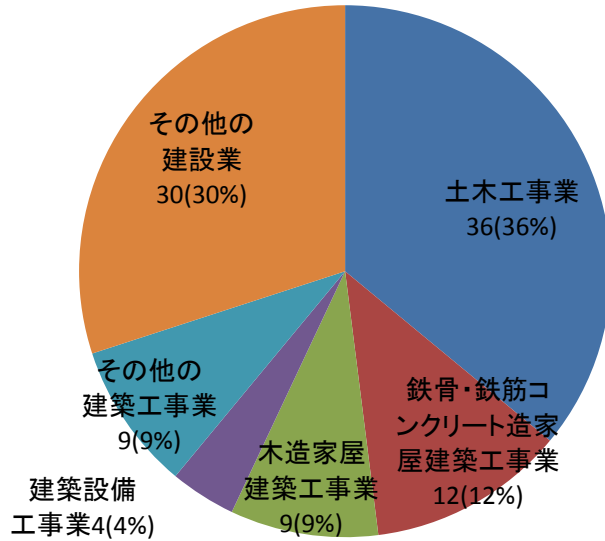


経験期間別割合



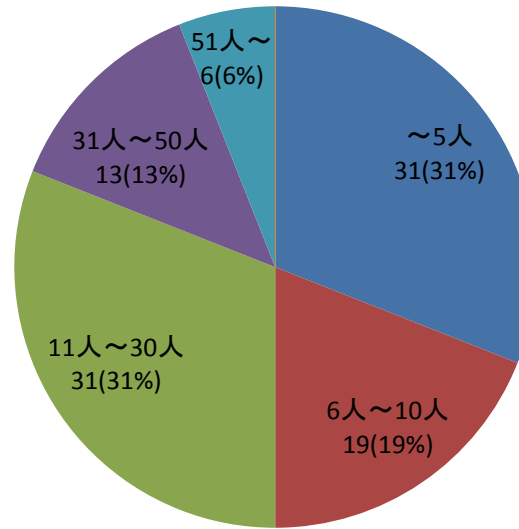
(4)業種

業種別割合



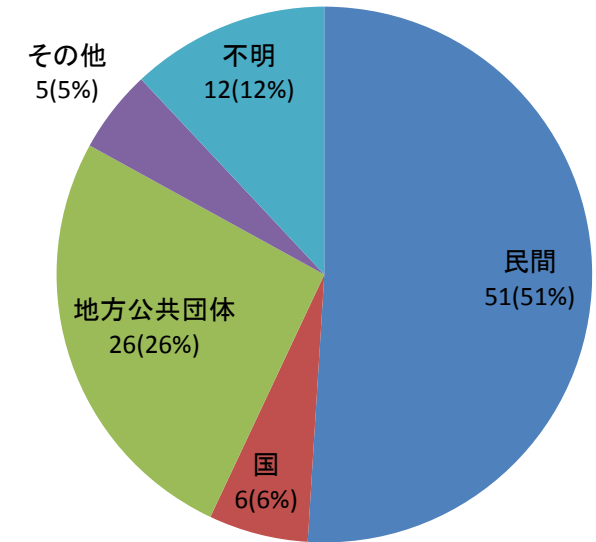
(5)事業場(店社)規模

事業場(店社)規模別割合



(6)発注者の種別

発注者別の割合



(7)災害事例

- はしご・脚立から(17件)
 - ・ 店舗新築工事において脚立の上から1段目で(脚立天端をまたいで)天井部の配管作業を行っていたところ墜落した。
 - ・ 1階屋根の瓦を取り替えようと、移動はしごを傾斜のある玄関ポーチに設置し、屋根の端に立てかけ、上っていたところ、はしごが転位し墜落した。
- その他の建築物・構築物から(24件)
 - ・ 河川点検のため、護岸天端部を移動していた際に、護岸ブロックの端から墜落した
 - ・ 鉄塔上で作業中に、足を滑らせバランスを崩した際に、安全帯が掛けていた水平墜落防止装置の端から抜け、墜落した
- その他(59件)
 - ・ 道路工事現場において、ローラーで締め固め作業を行っていたところ、ローラーとともに路肩から法面上を転落した。
 - ・ 法面上で伐採した木の切株の伐根作業を行っていたところ法面上を墜落した。